



対象工区：A工区／鶴見区、神奈川区、西区、中区、保土ヶ谷区、緑区、青葉区、都筑区
 B工区／南区、港南区、旭区、磯子区、金沢区、戸塚区、栄区、泉区、瀬田区
 導入設備：A工区／LED照明×約60,000灯（東芝製） B工区／LED照明×約58,000灯（東芝製）
 完成：平成27年2月

ESCO事業*の活用

*ESCO事業：Energy Service Company事業の略。既存の設備を省エネ設備に改修すると光熱水費の削減ができ、この削減分の費用から設備の改修費や維持管理費を捻出する事業。

事業の概要

平成26年度の防犯灯整備について、自治会・町内会の維持管理費の負担減と地球温暖化対策などの側面から、ESCO事業を導入し、LED化を実施しました。

ESCO事業を活用し、約11万8000灯の防犯灯を11ヶ月の工期でLED化。

実施内容

照明設備

市内にある約183,000灯の防犯灯のうち約118,000灯を東芝製LED防犯灯に更新。



蛍光灯防犯灯

LED防犯灯

効果

鉛直面照度（路面から1.5mの高さで人の顔に対する照度）は平均で約5倍、
 水平面照度（路面に対する照度）は平均で約6倍になり明るさが広範囲に拡大しました。

省エネ効果

消費電力削減率

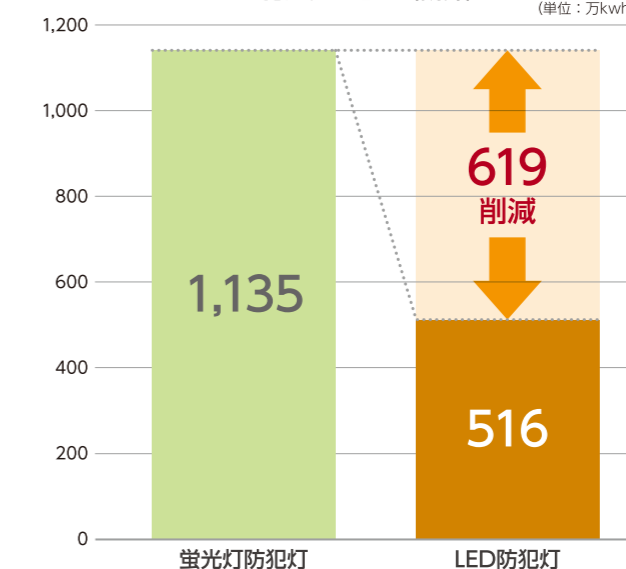
約54.5%

CO₂削減率

約54.5%

消費電力量（概算）

（単位：万kwh/年）



二酸化炭素排出量（概算）

（単位：t/年）

